

老後における余暇に関する一研究

—— サークル所属者と非所属者との相違について ——

○ 鷲見 勝博 山本 学 後藤 哲也 藤原 健岡
(中京大学) (高知県教育委員会) (中京大学大学院) (中京大学)

生き甲斐, 健康, 老後

1 研究視点

今日, 高齢化社会について関係方面から多くの問題が論議されている。

我が国の場合, 1970年頃を境として人口老齢化が始まった。人口老齢化が進行すると, それにあった老後の生活の方向づけが必要になる。それは, 個人が老後の人生に意義を与えるための目的を追求することである。すなわち, 高齢者の生き甲斐の場の確保である。そして, そのひとつに社会的参加がある。

高齢者の社会的参加について考える場合, 次の2つの考え方があ

ひとつは, 老後は社会から退き, その後の余生をのんびりとすごすことがノーマルな生き方とするものである。

ふたつは, 高齢者にそれぞれ固有な役割をもたせようとするものである。そのため, 社会や家族のなかで有用な存在として位置づけようとするものである。

これらのことは, 高齢者の家庭的状況から生じる個人の生活価値観を反映すると考えられる。それは, 高齢者のライフスタイルに基因するものである。

本研究では, これらの社会的参加をサークル所属の有無に求めた。そして, 高齢者の社会的参加がサークル所属の有無によって促されるものであるかを問題にする。その際, 具体的には以下の3点を明らかにするものである。

- ①サークル所属は, 健康で生き甲斐のある生活を求める高齢者のニーズに対応する。
- ②諸個人の相互作用により, 同質結合によるよりよい小集団の形成を促す。
- ③サークル所属は, 老後の社会的参加を促す。

2 資料収集

イ) 被調査者 高知県に在住する65歳以上の男女(表1)。

表1 被調査者一覽 (%)

職業	農・林・漁業	倉庫業	無職	その他					
職業	30(19.9)	3(2.0)	14(9.3)	82(54.3)					
性別	男	女							
	63(41.7)	88(58.3)							
家族構成	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	その他
	31(20.5)	33(21.9)	12(7.9)	15(9.9)	23(15.2)	22(14.6)	11(7.3)	3(2.0)	1(0.7)
学歴	中学校	高等学校	各種学校	短大	大学	専門学校	旧制中学校	その他	
	12(7.9)	10(6.6)	15(9.9)	8(5.3)	3(2.0)	57(37.7)	30(19.9)	16(10.6)	
年収	190万未満	200万円以上 240万円未満	250万円以上 290万円未満	300万円以上 340万円未満	350万円以上 390万円未満	400万円以上 440万円未満	450万円以上 490万円未満	500万円以上 無記入	
	35(23.2)	25(16.6)	31(20.5)	26(17.2)	9(6.0)	3(2.0)	2(1.3)	20(13.2)	
結婚状況	専業主婦	主婦	結婚していない						
	86(57.0)	2(1.5)	63(41.3)						

N = 151

ロ 調査内容 アンケート調査

ハ 調査方法 高知県の各地域で開催された高齢者学級などに参加したものと及び老人ホームに居住するもの 229名に対して実施した。分析及び集計に採用したのは 151名であった。

ニ 調査時期 昭和58年9月21日——同11月15日。

3 結果と考察

(1)サークル所属の有無

サークル所属の有無についてみたのが表2である。

表2 サークル所属の有無 (%)
何らかのサークルに所属しているものが62.9パーセントであったのに対し, サークルに所属していないものは37.1パーセントであった。さらに, 所属者についてはその内訳をみると, 最もサークル加入率が高かったのは「スポーツグループ」(28.4%), 続いで, 「その他」(24.2), 「学習グループ」(15.8)の順であった(表3)。

表3 所属者内訳 (%)

サークル種別	所属者 割合	全体の 割合	加齢層 割合	スポーツ グループ	学習 グループ	健康 グループ	文化 グループ	その他
	N=95	7(7.4)	3(3.2)	10(10.5)	27(28.4)	4(4.2)	15(15.8)	2(2.1)
				4(4.2)	2(2.1)	4(4.2)	3(3.2)	23(24.2)

(2)サークル所属の有無と老後の余暇

ここでは, サークル所属の有無との社会的属性, ②老後の余暇の実態と意識, ③健康観との関係を扱う。統計的に有意であったのは, 表4のとおりである。

①社会的属性

所属者では「女性」が高かった。すなわち, 「女性」のそれが65.3パーセントであったのに対し, 「男性」のそれは34.7パーセントであった。

このことは, 女性の意識が年齢によって異なり, この意識を行動にうつすための余暇時間が多いと考えられる。

②老後の余暇の実態と意識

まず, 「あなたは, スポーツやレクリエーションをすることが好きですか」という質問に対し, 「好き」と答えたものは所属者に高かった。すなわち, 所属者のそれが52.6パーセントであったのに対し, 非所属者のそれは26.8パーセントであった。

また, 「スポーツ実施回数」についてみると, 所属者では「週1回程度」(32.6), 「1日1回程度」(30.5)と続き, 非所属者では「1日1回程度」(28.6), 「やらない」(28.6), 「週1回程度」(21.4)

表4 サークル所属の有無と余暇目的の関連

	項目	X ² 値	P
知覚的 属性	年齢	3.231	
	性別	5.149	**
	結婚の有無	2.28	
	家族構成	14.451	
	所得	4.817	
	月収	10.978	
老後の余暇の 実施と意識と 意識	運動の頻度	5.859	
	運動の種類	10.539	
	余暇活動への関心	3.986	
	運動の目的	13.439	*
	スポーツの経験	14.33	**
	余暇の場所	14.733	
	余暇の時間	17.682	*
	余暇の場所	17.048	*
	余暇の種類	18.981	*
	余暇の場所	12.959	
	余暇の種類	2.567	
	余暇の種類	10.751	
	余暇の種類	2.582	
余暇 の種類	読書の頻度	21.095	**
	生き甲斐	9.83	
	健康維持	7.626	
	老後の幸せ	13.439	*
	健康維持	6.055	
	健康維持	2.371	
	健康維持	18.92	*
	健康維持	9.77	
	健康維持	6.324	
	友人との交流	9.966	*

の順であり、特に回数による
ちがいはみられなかった。こ
のことは、「運動に対する態
度」（あなたは、運動をされ
るとき、つぎのどの立場をお
とりになりますか）について
も同様であった。すなわち、
「運動は、仕事や勉強などを
やるべきことをやってひまが
あったらやる」としたものは、
所属者では47.4パーセント、
非所属者では46.4パーセント
であった。

つぎに、余暇の活用（あな
たは、余暇を主としてどのよ
うに使っておられますか）に
ついてみると、所属者では、
最も高かったのが「新聞、ラ
ジオ、テレビをみる」(17.9)
で、非所属者では「休養」
(33.9)であった。

これらのことは、サークル
所属の有無が老後の余暇のあ
り方を左右するものでないこ
を示唆するものである。

と「ときどきある」を合わせると、所属者、非所属者とも
高い割合を占めていた。すなわち、所属者のそれが89.5パー
セントであり、非所属者のそれが82.1パーセントであつた。

これらのことは、老後の社会的参加が精神的健康、社会
的健康とかかわりのあることを示唆するものである。そして、
老後の余暇生活のあり方如くで老後の生き甲斐を左右
すると考えられる。そのため、余暇活動を老後の生活の
リズムのなかに組み入れていく必要があると考えられる。

4 結語

以上、サークル所属の有無と老後の社会的参加について
みてきた。しかし、老後の余暇は、サークル所属によって
左右されるものではなかった。そのため、個人の次元にお
いて、老年期の余暇活動を自主的に選択し、判断する能力
を養うことが望まれる。

③健康観

老後の生活を生き甲斐のあるものにするためには、まず
健康でなければならない。ここでは、健康（精神的、社会
的、身体的）の側面から老後の社会的参加との関係につい
て扱う。

①身体的健康

サークル所属の有無と身体的健康との間には、有意な差
はみられなかった。

②精神的健康

まず、「老後の幸せ」（あなたは、御自分の「老後の幸
せ」としてどのようなことを望みますか）についてみたところ、
最も高かったのは、「健康」であった。すなわち、
所属者のそれは86.3パーセントで、非所属者のそれは71.4
パーセントであった。

つぎに、「現在の生活での楽しみ」についてみると、第
1位が「家庭でのいこい」で、所属者のそれは40.0パーセ
ント、非所属者のそれは35.8パーセントであった。そして、
第2位が所属者では「余暇活動」(35.8)、非所属者では「仕
事上の満足」(25.0)であった。

③社会的健康

まず、「世の中で頼りにしていること」をみると、「家
庭」が最も高かった。すなわち、所属者のそれは55.8パー
セントであり、非所属者のそれは35.7パーセントであった。

また、「友人との交流」（あなたは、友人といっしょに
よく出かけられますか）についてみたところ、「よくある」